評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| 町には どんな  ところが あるのかな | 【関・意・態】  自分が住んでいる町の秘密を話したり，友達の話を聞いたりして，町探検を楽しみにしている。（発言・対話・行動） | ・「学校に来る途中にどんなものがあるだろう。」「知っているお店はあるかな。」などの声かけをする。  ・友達の話を聞いて同じような経験はないか考えさせる。 |  | ・「わたしが学校に来る時に見つけたのは，不思議な看板です。あれが何のお店でどんな人が働いているのか調べてみたいです。」など，自分の生活体験にもとづき話すことができる。 |
| 【思・表】  町にはどんなところがあり，どんな人がいるのか考えることができる。（発言・対話・行動） | ・イラストを見ながら，「これは何だろう。」と質問を行う。  ・今まで行ったことがある場所やそこで出会った人について思い出させるようにする。 |  | ・「横断歩道を渡るときに，いつも旗を持っていて渡らせてくれる人がいるけど，あの人はどんな人なんだろう。」というように，今までに町のなかで出会ってきた人や見つけたものについてみんなの前で発表できる。 |
| 【気付き】  自分が住んでいる町について，自分が知っていることはそのなかの一部分だけであることに気付くことができる。（発言・対話・行動） | ・友達の発表を聞いて，自分の住んでいる町には知らないことがたくさんあるということを気付かせる。  ・教科書のイラストにあるような建物や，ものの写真を用意しておき，掲示する。 |  | ・「○○ちゃんの話していた公園に行ってみたいと思いました。」「お店があることは知っていたけど，どんな人が働いているのか知らなかったので，行ってみたいと思いました。」など，友達の発表を聞いて，自分の知らないことに気付き町探検への意欲につなげることができる。 |
| 町たんけんの  じゅんびを しよう | 【関・意・態】  町探検で必要なルールやマナーなどを知り，安全で楽しく町探検が行えるように進んで準備をしている。（発言・対話・行動・カード） | ・準備物や約束がなければどんな時に困るか，声をかけたり，以前にあったトラブルの例を話したりして考えさせるようにする。 |  | ・「町で会った人に挨拶をしよう。」「交通安全に気をつけながら町探検をしよう。」というように，探検に対する意欲とともにルールやマナーを意識している。 |
| 【思・表】  探検に必要なものを考えて，計画や準備をしたり，探検の約束などを考えたりすることができる。（発言・対話・行動・カード） | ・教科書を見ながら，探検になくては困るものはないか考えさせる。また，道やお店で注意すべきことを確認する。 |  | ・「探検する順番を考えておくといいね。」「探検ボードがあるとメモをする時に便利だね。」というように，探検に必要なものや約束を進んで考え，グループのなかで発表したり，カードにかいたりしている。 |
| 【気付き】  町探検に必要なものや約束(ルールやマナー，言葉遣い)の大切さに気付いている。（発言・対話・行動・カード） | ・町には，色々な人がいることに気付かせ，そういったなかでどう行動したらいいかということを具体的な場面で確認する。(例：電車などの乗り物に乗る場合など) |  | ・「お店の人に質問する時には，『～ですか』という言い方がいいね。」というように，相手意識を持って行動できる。また，交通ルールに気をつけて，町探検をしようとする態度が見られる。 |
| 町たんけんに  行こう | 【関・意・態】  自分の町に関心を持ち，安全に気をつけ，友達と協力して探検したり調べようとしたりしている。（発言・対話・行動・自己評価・相互評価） | ・町探検のルールを再度確認し，友達と協力しながら探検することの大事さを伝える。ルールやマナーを守っている子どもをほめ，自分の行動に気付かせるようにする。 |  | ・意欲的に町探検に参加し，交通安全に気をつけた道路の歩き方や会った人への挨拶をしっかりと行っている。また，グループの友達と協力しながら，町探検を行っている。 |
| 【思・表】  場所やもの，町で出会った人とのかかわり，見つけたことや気付いたことなどをカードにかき表すことができる。（発言・行動・カード） | ・文章で書くのが難しい子どもには，絵で描いてもいいことを伝える。また，写真を撮るなど，後からでも思い出せるようにする。 |  | ・「ねぼけ堂のお店の人が鈴焼について教えてくれました。」「いつも学校に来る途中で見ている田んぼをよく見たら，オタマジャクシがいました。」というように，お店で出会った人とのかかわりや生活のなかで気付かなかったことについて書けている。 |
| 【気付き】  町の自然の様子や人々の生活の様子に気付いている。（発言・対話・行動・カード） | ・写真などの補助資料を用いたり，グループの他の子どもの発言から自然や生活の様子を理解できるようにする。 |  | ・「公園にはたくさんの木がありました。カブト虫がいるかもしれないと友達が言っていたので，今度とりに行きたいです。」「商店街には，たくさんお店がありました。そのなかでもねぼけ堂には，たくさんの人が買いに来ていました。」というように，探検で見つけた建物のことだけではなく，お店の様子や感じたことなども書けている。 |

評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| 町の 人に  インタビューを しよう | 【関・意・態】  公共物や公共施設のルールやマナーを守り，適切な挨拶や言葉遣いに気をつけながら，進んでインタビューしようとしている。（発言・対話・行動・自己評価・相互評価） | ・インタビューの時間を作ってもらっているという感謝の気持ちや他のお客さんへの配慮をもう一度確認する。 |  | ・「今，お話を聞かせてもらってもいいですか。」など相手を意識したインタビューをしている。また，目を見て挨拶，丁寧に話す，お礼を言うなどのマナーを守りながらインタビューをしている。 |
| 【思・表】  自分の思いや願いをもって接することで，人や場所，ものなどに親しみをもち，その様子を伝えたり，書き表すことができる。（発言・行動・カード） | ・質問する内容を事前に考えてからインタビューを行うようにする。また，話すのが苦手な子どもには，インタビューの仕方を練習してから行くようにする。 |  | ・「ねぼけ堂にあるお菓子について詳しく知りたいと思い，インタビューをしました。季節によってお菓子の種類が変わるということを聞いて，また行ってみたくなりました。」というように，インタビューを行い，更にその場所について知りたくなったり，また行ってみたいと思ったりすることができている。 |
| 【気付き】  町の人にインタビューを行うことを通して町のよさに気付き，さらに町のことを知りたいと思っている。（発言・対話・行動・カード） | ・インタビューで聞いた内容を整理し，初めて知ったことや，さらに知りたいと思うことを確認する。 |  | ・「お店で売っているお菓子は，手作りで作っているとお店の人に教えてもらいました。食べる人のことを考えて，丁寧に作っているから，おいしいとわかりました。」というように，インタビューで教えてもらったことをもとに，よさに気付くことができる。 |
| 見つけた 町の すてきを  つたえ合おう | 【関・意・態】  町探検で感じたことや気付いたりわかったりしたこと，考えたこと，もっと知りたいと思ったことなどを友達に伝えたり，交流したりしようとしている。（発表・発言・行動・カード・作品） | ・町探検やインタビューでかいたカードを見ながら考えさせるようにする。また，写真などを見ながら，町探検を振り返らせる。 |  | ・様々な方法のなかから，町探検で感じたことや気付いたりわかったりしたこと，考えたこと，もっと知りたいと思ったことを伝えるためにどの方法がいいか考え，工夫して伝えている。 |
| 【思・表】  町探検を通して気付いたことを絵，動作，劇化などを使って自分なりに表現したり，まとめたりすることができる。（発表・発言・行動・カード・作品） | ・グループの友達と情報を交換する場を設定したり，写真やパンフレットなどの資料を見ながら行うようにする。  ・伝える方法で悩んでいる子どもには，いくつか例示するようにする。 |  | ・町探検をして気付いたことを相手に伝えるのにどの方法がいいか考え，自分なりの方法でまとめることができる。 |
| 【気付き】  町探検で見つけた町のよさを振り返ったり，他者と交流して認め合ったりして新たなよさに気付いている。（発表・発言・行動・カード・作品） | ・友達の発表を聞いて，新たに知ったことやもっと知りたいと思ったところなどを確認し，次の町探検への意欲につながるようにする。 |  | ・自分が見つけた町のよさや友達の発表で知った町のよさから，自分の住んでいるところへの愛着を持ち，また行ってみたいと思うことができる。 |

評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| あつく なって 町は  どこが かわったかな | 【関・意・態】  春の探検の時に比べ町が変わった様子に関心を持ち，安全に気をつけ，友達と協力して探検したり調べようとしている。（発言・対話・行動・自己評価・相互評価） | ・春の町探検の時の写真や資料を掲示したり，見返したりすることで意欲を高める。交通ルールやマナーについて，再度確認する。 |  | ・春の町探検の時と変わったことについて気付き，繰り返しかかわってきた相手には親しみをもって接している。交通安全に気をつけた道路の歩き方や会った人への挨拶をしっかりと行っている。また，グループの友達と協力しながら，町探検を行っている。 |
| 【思・表】  春に見つけたものが季節の変化に伴って変わった様子や新しく発見したことについて，場所やもの，町で出会った人とのかかわり，見つけたことや気付いたことなどをカードに書き表すことができる。（発言・行動・カード） | ・春の町探検で訪れた場所や見つけたものの写真や資料と比べながら，夏になって変わった部分をかけるようにする。 |  | ・「ねぼけ堂のお店でようかんを売っていました。お店の人に聞いたら，季節によって売っているものが変わるそうです。」「前に探検で行った田んぼを見たら，カエルがいました。」というように，春の町探検との違いや新たに発見したことがかけている。 |
| 【気付き】  季節が変わったことにより，町の自然や人々の生活が変化していることに気付いている。（発言・対話・行動・カード） | ・写真などの補助資料を用いたり，グループの他の子どもの発言から自然や生活の様子の変化を理解できるようにする。 |  | ・「ねぼけ堂に行くと，前に言った時にはなかった風鈴が飾ってありました。」「町探検で見つけた掲示板に夏祭りのことが書いてありました。」というように，町の生活は季節に密接に関係していることに気付いている。 |
| みんなが つかう  場しょに 行って みよう | 【関・意・態】  みんなが使う場所(公共施設)の利用の仕方を知り，進んで活用しようとしている（発表・発言・行動・カード・作品） | ・写真などの補助教材を使って，利用の仕方や注意点を学習してから行くようにする。 |  | ・みんなが使う場所(公共施設)の利用の仕方をきちんと理解し，約束を守って利用している。また，それぞれの特徴を理解し，自分の用途に合わせた利用の仕方ができる。 |
| 【思・表】  みんなが使う場所(公共施設)を利用して気付いたことを自分なりに表現したり，まとめたりすることができる。（発表・発言・行動・カード・作品） | ・みんなが使う場所(公共施設)の利用の仕方をもう一度確認し，利用をした時に自分が気をつけたことを振り返らせる。 |  | ・「図書館では静かにする。」「公民館では，他に利用する人のことを考えながら使う。」など，それぞれの施設に応じた利用の仕方を考え，それを自分の言葉でまとめたり，発表したりできる。 |
| 【気付き】  みんなが使う場所(公共施設)に親しみをもち，その良さに気付いている。（発表・発言・行動・カード・作品） | ・一度行って終わりではなく，何度も繰り返し訪れることで愛着を持てるようにする。 |  | ・「休みの日に家の人と一緒に行ってみました。学校の町探検の時にはやっていなかった絵本の読み聞かせをやっていました。」「家族と一緒に博物館に行きました。町のことがもっとよくわかりました。」など，学校だけではなく家族と行くことで知らなかったことを知り，そのみんなが使う場所(公共施設)のよさに気付くことができる。 |